



「さっぽろっ子環境ウイーク」におけるSDGsアクション

宣言

「SDGsについてもっと知ろう、考えよう」

SDGsアクション

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「世界に起こる問題について、みんなで学ぼう」

達成目標 2030年まであとわずかになり、「SDGsという言葉については分かるけど、一体どういうことが起きているのかな？」というところからスタートしました。

前期に作物を育てる「農業」を通じて、自然の営みや命について学習してきた子どもたち。SDGsに詳しい方をゲストティーチャーとしてお招きし、まずは「農業」が環境に強く結び付いていることを、カードゲームを通じて学びました。作物を育てるためには水が必要で、水をきれいに保つためには様々なエネルギーが必要で…と、子どもたちは土に触れた経験を思い出しながら、環境を守ることの大切さに気付いていました。

さらに、社会と文化、経済のつながりを、ゲームを通じて疑似体験しました。社会がなければ文化も経済も成り立たない等、それぞれが不可欠で支え合っていることを、子どもたちは実感していました。

学習のまとめとして、17の項目から自分で課題を設定して調べたり話し合ったりしました。調べたことや考えを発表する場面では、パズルや神経衰弱などのゲームを自分たちで作成し、聞き手が体験的に学べるよう工夫していました。



ゲストティーチャーとの学習



それぞれの方法で発表する子どもたち

成果

- ・自分たちで畑を起こして作物を育てた体験や、ゲーム等を取り入れた体験的な学習活動が、子ども自身の問題意識につながりました。主体的に調べたり話し合ったりしたからこそ、子どもたちは環境に対して深く考えたり、深い理解を得たりすることができました。
- ・地域学校協働活動として、地域の方や詳しく知っている方に多く御支援いただきました。子どもたちが学びを深められるような展開を、様々な観点からのアイデアをいただきながら工夫することができました。

次年度の取組に向けて

- ・今年度始めた取組です。本校第5学年の取組とより関連付け、子どもたちの主体的な学びにつながるよう、ブラッシュアップしていきたいと考えています。特に、「知る」という活動については、前期の作物を育てるということから「食育」や理科、家庭の学習とのより良い関連を探っていききたいと考えています。